

平成 22 年度 決算 に 係 る

定 期 監 査 調 書
決 算 審 査

平成 23 年 8 月

教育委員会 高等学校課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	1
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	2
7	決算調書（総括表）	9
8	事業別実施状況調べ	10
9	予備費の充用調べ	16
10	繰越関係調べ	17
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	17
12	収入事務処理状況調べ	17
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	19
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	20
15	税外収入不納欠損額調べ	20
16	債務負担行為の状況調べ	21
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	22
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	27
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	27
19	財産に関する調べ	27
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	30
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	
21	借受不動産明細調べ	30
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	30
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場調べ	
23	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	31
24	寄附物件の受納状況調べ	31
25	備品の処分状況調べ	31
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	31
27	貸付金等状況調べ	31
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	32

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係名	課の主な所掌事務
高等学校課	学事担当	県立高等学校の授業料に関すること。
	管理係	県立高等学校の設置、廃止及び管理に関すること。 高等学校の教職員の定数及び任免その他の人事に関すること。 県立高等学校の教職員の組織する職員団体に関すること。
	指導係	県立高等学校の教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。 県立高等学校の入学者選抜に関すること。 県立高等学校の教科用図書及び教材の取扱いに関すること。 高等学校卒業程度認定試験に関すること。
	高校教育企画室	今後の県立高等学校の在り方に関すること 中高一貫校の設置検討に関すること 高等学校学力向上推進委員会に関すること

4 職員の定員、現員調べ

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		23.4.1 現在	22.4.1 現在	23.4.1 現在	22.4.1 現在	23.4.1 現在	22.4.1 現在	23.4.1 現在	22.4.1 現在	
	定員	26	24					26	24	
	現員	26	24					26	24	
	過不足(Δ)	0	0					0	0	
	臨時職員	0	0					0	0	
	非常勤職員	2	1					2	1	事務補助

5 役付職員の調べ

(平成23年8月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
参事監兼 高等学校課長	藤原辰広	年 月 1 4	
高校教育主査兼 高校教育企画室長	御船斎紀	0 4	
課長補佐	木本美喜	0 4	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
次世代改革 高校生学力向上 推進事業 決算額 13,643千円 (財源内訳) 一般財源 13,643千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>○「高等学校に関するアンケート(平成20年度実施)」結果により、以下の点が課題として明らかになった。</p> <p>①家庭学習の不足 ②学ぶ意欲・目的意識の低下 ③生徒の到達度に応じた学習指導の不足 ④教員の指導力の向上</p> <p>○県立高等学校入学者選抜学力検査では、学力の2極化の傾向がみられる。このような課題を解消するため、教員の教科指導力の向上と生徒が夢や希望に向かって果敢にチャレンジする意欲・態度を育成することを目的とした取組を実施する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) 予備校や先進校への派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進校・大学への視察 6校57名 ・県外予備校での研修 10校83名 <p>(2) 予備校教員による県内での研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学入試センター試験及び二次試験対策の研修を国語・数学・英語の3教科で実施した。 参加教員 23校 70名 <p>(3) 県外先進校での教科指導・学校運営研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外の先進校に1週間程度派遣し、教科指導や学校運営について学んだ。 参加教員 3校 4名 <p>(4) 県外教員との授業実践・研究交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優れた授業実践を行っている国語・数学・英語の県外教員を招き、授業研究や研究協議を実施した。 参加教員 6校 149名 <p>(5) エキスパート教員育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来のエキスパート教員を育成するため、県外先進校への派遣や先端技術を学ぶため大学等の研究機関への派遣、試験問題の作成や研究授業を行った。 参加教員 10校 16名 <p>(6) 県内企業に対する教員の理解促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の地元就職を促進するため、地元企業を訪問し工場見学や意見交換を行った。 参加教員 23校 57名 <p>(7) 難関大学を目指す生徒のための合同勉強合宿(2年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生を対象にした合同勉強合宿を3泊4日で実施した。 参加生徒 6校 55名
○将来ビジョン VI 育む (2) 「人材・鳥取」の推進	

事業名	概要
次世代改革 高校生学力向上 推進事業 (続き)	<p>(8) 理数課題研究等発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科及び数学の課題研究等に係る発表会を開催した。 参加生徒(口頭発表) 5校 31名 <p>(9) 高校生英語弁論大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語学習の総合的な成果の発表の場を設定し、国際的な視野をもつ人材を育成することを目的として開催した。 参加生徒 5校 13名 <p>(10) 高校生留学支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学説明会、留学経験者との交流会を開催し、海外留学に必要な情報提供を行う。 【留学説明会参加者実績】 生徒18名 保護者29名 教員2名 ・理数課題研究等発表会及び英語弁論大会の優秀者を海外に派遣し、英語力や課題解決能力、学習意欲の一層の充実を図り、国際社会で活躍しようとする人材を育成する。 【海外研修派遣実績】 米国バーモント州に生徒2名派遣 オーストラリアに生徒2名派遣 <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>(1) 予備校や先進校への派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の成果を報告書にまとめ各校に配布し、成果の共有を図った。 <p>(2) 予備校教員による県内での研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科とも1日開催から2日連続開催とし、内容の充実を図った。 <p>(3) 県外先進校での教科指導・学校運営研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>(4) 県外教員との授業実践・研究交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・招聘する県外教員を3名から7名に増やし、東・中・西部の各地区で事業を実施した。 <p>(7) 難関大学を目指す生徒のための合同勉強合宿(2年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が予習しやすいように、事前にテキストを作成・配布した。 <p>(5)、(6)、(8)、(9)、(10)は新規事業のため改善点は特になし。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員及び生徒が学校の枠を超えて切磋琢磨する機会が大幅に増加し、教員の授業改善の意識や生徒の学習意欲が高まった。 →学校の枠を超えて教員同士が切磋琢磨する県外教員との授業実践・研究交流事業の会場校の増加(平成21年度3校→平成22年度6校) →学校の枠を超えて生徒同士が切磋琢磨する事業の増加(平成21年度1事業→平成22年度3事業) ・エキスパート教員育成事業の参加者16名のうち5名がエキスパート教員に認定された。 (エキスパート教員認定者:平成22年度9名→平成23年度14名) ・予備校教員による県内での研修会を2日間で開催。実施後のアンケートでは100%の教員が「研修の内容が教育実践の参考になった。」と回答した。 ・難関大学を目指す生徒のための合同勉強合宿(2年生)の実施後の生徒アンケートでは、各教科とも参加者の85%以上が「授業により知的な刺激を受け、さらに深く勉強したくなった」と回答した。 ・高校生留学支援で海外派遣した生徒は、知事・教育長報告会等をとおして、「異文化理解に役立った」「英語でのコミュニケーションが上手になった」などの意見を発表した。

事業名	概要	要																																																																																															
次世代改革 高校生学力向上 推進事業 (続き)	エ 課題 ・ 予備校や先進校への派遣は、各校とも授業改善につながり成果が大きいと考えているが、成果の全県での共有が課題である。 ・ 学力向上には、家庭での学習習慣が身につけていない生徒への小・中・高の連携した取組が必要で、平成23年度から「未来を拓くスクラム教育」推進事業を実施し、小・中・高の縦の連携を強化する。 ・ 就職試験においても基礎・基本的な学力が求められているが、専門高校で学ぶ生徒の学力の実態が把握されていないことに課題があり、平成23年度「新時代を拓く学びの創造プロジェクト」を実施し、高校生の学力把握及び効果的な学習方法を構築する。																																																																																																
地域を担う 人財育成事業 決算額 971千円 (財源内訳) 一般財源 971千円 ○将来ビジョン VI 育む (2) 「人材・鳥取」の 推進	ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 教育界と産業界とのネットワークを構築し、継続して維持することにより、経済・産業情勢の変化に、教育を迅速に対応させる。学校への社会人講師の招聘や、生徒・教員の企業研修を継続して実施することにより、生徒や教員に産業界の実際を理解させ、意欲と技能を高める。 (イ) 事業の実施状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">事業内容</th> <th colspan="4">参加人数</th> </tr> <tr> <th>実施回数</th> <th>外部講師等</th> <th>教員</th> <th>生徒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取商業</td> <td>各学校ネットワーク会議の開催</td> <td>鳥取商業高等学校地域連携委員会</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鳥取工業</td> <td>各学校ネットワーク会議の開催</td> <td>鳥取工業高等学校産業教育懇話会</td> <td>2</td> <td>21</td> <td>19</td> <td></td> </tr> <tr> <td>倉吉総合産業</td> <td>各学校ネットワーク会議の開催</td> <td>倉吉総合産業高等学校振興協力会(#)</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米子工業</td> <td>各学校ネットワーク会議の開催</td> <td>米子工業高等学校地域委員会(*)</td> <td>5</td> <td>21</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鳥取商業</td> <td>共同研究</td> <td>新商品開発</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>鳥取工業</td> <td>社会人講師の導入(授業以外)</td> <td>技能検定3級電子機器組み立て技術補習</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>鳥取湖陵</td> <td>社会人講師の導入(授業以外)</td> <td>技能五輪全国大会(造園部門)出場への取組</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>鳥取湖陵</td> <td>社会人講師の導入(授業以外)</td> <td>地域特産品(らっきょう)のオリジナル料理の開発</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>鳥取湖陵</td> <td>社会人講師の導入(授業以外)</td> <td>ITパスポート試験受験対策</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>鳥取湖陵</td> <td>社会人講師の導入(授業以外)</td> <td>マルチメディア関連検定受験対策</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>倉吉総合産業</td> <td>社会人講師の導入(授業以外)</td> <td>普通旋盤作業における技能指導</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>倉吉総合産業</td> <td>社会人講師の導入(授業以外)</td> <td>板金加工における技能指導</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	区分	事業内容	参加人数				実施回数	外部講師等	教員	生徒	鳥取商業	各学校ネットワーク会議の開催	鳥取商業高等学校地域連携委員会	2	11	40		鳥取工業	各学校ネットワーク会議の開催	鳥取工業高等学校産業教育懇話会	2	21	19		倉吉総合産業	各学校ネットワーク会議の開催	倉吉総合産業高等学校振興協力会(#)	6	10	10		米子工業	各学校ネットワーク会議の開催	米子工業高等学校地域委員会(*)	5	21	35		鳥取商業	共同研究	新商品開発	2	3	1	15	鳥取工業	社会人講師の導入(授業以外)	技能検定3級電子機器組み立て技術補習	3	1	1	9	鳥取湖陵	社会人講師の導入(授業以外)	技能五輪全国大会(造園部門)出場への取組	2	1	1	11	鳥取湖陵	社会人講師の導入(授業以外)	地域特産品(らっきょう)のオリジナル料理の開発	1	2	2	8	鳥取湖陵	社会人講師の導入(授業以外)	ITパスポート試験受験対策	2	1	1	5	鳥取湖陵	社会人講師の導入(授業以外)	マルチメディア関連検定受験対策	2	1	1	7	倉吉総合産業	社会人講師の導入(授業以外)	普通旋盤作業における技能指導	8	1	1	10	倉吉総合産業	社会人講師の導入(授業以外)	板金加工における技能指導	3	1	1	8
学校名	区分	事業内容				参加人数																																																																																											
			実施回数	外部講師等	教員	生徒																																																																																											
鳥取商業	各学校ネットワーク会議の開催	鳥取商業高等学校地域連携委員会	2	11	40																																																																																												
鳥取工業	各学校ネットワーク会議の開催	鳥取工業高等学校産業教育懇話会	2	21	19																																																																																												
倉吉総合産業	各学校ネットワーク会議の開催	倉吉総合産業高等学校振興協力会(#)	6	10	10																																																																																												
米子工業	各学校ネットワーク会議の開催	米子工業高等学校地域委員会(*)	5	21	35																																																																																												
鳥取商業	共同研究	新商品開発	2	3	1	15																																																																																											
鳥取工業	社会人講師の導入(授業以外)	技能検定3級電子機器組み立て技術補習	3	1	1	9																																																																																											
鳥取湖陵	社会人講師の導入(授業以外)	技能五輪全国大会(造園部門)出場への取組	2	1	1	11																																																																																											
鳥取湖陵	社会人講師の導入(授業以外)	地域特産品(らっきょう)のオリジナル料理の開発	1	2	2	8																																																																																											
鳥取湖陵	社会人講師の導入(授業以外)	ITパスポート試験受験対策	2	1	1	5																																																																																											
鳥取湖陵	社会人講師の導入(授業以外)	マルチメディア関連検定受験対策	2	1	1	7																																																																																											
倉吉総合産業	社会人講師の導入(授業以外)	普通旋盤作業における技能指導	8	1	1	10																																																																																											
倉吉総合産業	社会人講師の導入(授業以外)	板金加工における技能指導	3	1	1	8																																																																																											

事業名	概要						
地域を担う 人財育成事業 (続き)	学校名	区分	事業内容	参加人数			
				実施回数	外部講師等	教員	生徒
	倉吉総合産業	社会人講師の導入 (授業以外)	安全教育	1	1	1	38
	鳥取湖陵	教員研修の実施	漬け物技術の習得	10	1	1	
	鳥取湖陵	教員研修の実施	製パン技術の習得	5	1	1	
	鳥取湖陵	教員研修の実施	和服の着付け技術の習得	8	1	3	
	米子工業	教員研修の実施	電力会社の実務等について研修 (#)	3	1	3	
	合計			65	79	122	111
	(注1) *学校裁量予算事業で実施。 #予算ゼロ。						
	(注2) 合計欄 外部講師等79は会社4を含む。						
【人材育成に係る上記以外の取組】							
・鳥取県人財育成確保ネットワーク会議 産業界等とのネットワークの構築。産業界8名、高等教育機関2名、知事部局等6名、教育関係11名の委員による委員会。年2回実施。							
イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点							
・新規事業のため改善点は特になし。							
ウ 成果							
・地域社会・地元産業経済会と連携を図ることで地域に根ざした専門高校として地域貢献の在り方等、協議できた。 ・より優れた技能を有する社会人講師による実践的な指導を受け、技術力を向上させることができた。 ・地域の特産品をとおし、情報発信することにより、地域との連携を図るとともに、地域と深く関わることで地域の一員を再認識できた。 ・学校現場と地域産業界の交流を促進し、相互理解を深めることにより、地域社会・産業界に貢献できる人財を育成することを目的として計画を一步進めた。							
エ 課題							
・一過性のつながりでなく、地域の学校として地域社会や産業界と日常的に連携を継続していく必要がある。 ・企業ニーズにあった人財づくりを行うため、継続的に産業界からの意見も取り入れ、地域と連携しながら、より一層具体的な学校の取組みを打ち出していく必要がある。 ・専門高校の校種を越えた連携を具体化する必要がある。							

事業名	概要
<p>県立高校学力向上 チャレンジ・サポート事業</p> <p>決算額 3,053千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>一般財源 3,053千円</p> <p>○将来ビジョン</p> <p>VI 育む</p> <p>(2) 「人材・鳥取」の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 進学率の向上を目指し、他の学校を巻き込んだ高校生の学力や学習意欲の向上、教員の指導力の向上に積極的に取り組もうとする高等学校を支援する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) 学びの集団づくり (鳥取湖陵高校・鳥取商業高校) ・協同的な学びを柱とした授業改善を推進した。</p> <p>(2) 大学入試問題を題材とした合同授業研究会 (八頭高校) ・大学関係者及び県内教員等による合同の授業研究会を開催した。</p> <p>(3) 論理的思考力・表現力向上のためのゼミナール (倉吉東高校) ・図書館ゼミを7回開催し、現代社会の諸問題について講演等を開催した。また、論文研修も実施した。</p> <p>(4) チャレンジ・グループ活動 (倉吉西高校) ・大学生や大学教授の指導のもと、8分野のチャレンジグループごとに探究活動を行った。</p> <p>(5) 向ヶ丘レインボープラン (鳥取中央育英高校) ・小中高校の生徒・教員が授業をとおして交流する事業を実施した。また、「リーフレット『自ら学ぶ』家庭学習の手引き」の改訂を行った。</p> <p>(6) 科学を創造する人財育成事業 (米子東高校) ・最先端の科学に関する講演や物理・化学・生物に関する科学実験を実施した。</p> <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・新規事業のため改善点は特になし。</p> <p>ウ 成果</p> <p>・学校の枠を超えた教員同士の研究交流や生徒同士が切磋琢磨する機会が増加した。</p> <p>第2回図書館ゼミ：他校の参加生徒2校52名 他校の参加教員4校14名</p> <p>大学入試問題を題材とした合同授業研究会：他校の参加教員60名</p> <p>科学を創造する人財育成事業：他校の参加生徒8校70名 他校の参加教員5校6名</p> <p>・科学を創造する人財育成事業に参加した生徒のアンケート結果から科学実験について、8割を超える生徒が大変良かったと回答した。</p> <p>エ 課題</p> <p>・生徒の思考力・判断力・表現力を高めるための各種取組が実施されたが、生徒が自ら課題を認識し、主体的に学ぶ力を身に付けることができたかについて、継続した事業実施により検証していく必要がある。</p>

事業名	概要
<p>第三者評価導入事業</p> <p>決算額 798千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>一般財源 798千円</p> <p>○将来ビジョン</p> <p>VI 育む</p> <p>(2) 「人材・鳥取」の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>次の各項目の達成を図るため、県立学校において、当該学校に直接関わりを持たない有識者による第三者評価を導入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校自己評価や学校関係者評価の検証 ○学校や設置者による学校運営の改善の促進 ○教育内容や学校運営の質の向上 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県立学校第三者評価委員会を設置し、評価項目・評価基準・評価方法等を決定した。 ・平成22年度から、各年度毎に県立高等学校6校、県立特別支援学校2校の計8校において第三者評価を実施し、4年間で一巡する計画とした。ただし、鳥取壺学校ひまわり分校は1校と考えることとした。 ・平成22年度は、鳥取東、智頭農林、倉吉西、倉吉総合産業、境、日野、鳥取養護、皆生養護の8校に対して、第三者評価を実施した。 <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成20、21年度に実施した第三者評価試行実施を踏まえ、評価項目の見直しを行い、一部を改訂した。 ○学校が提出する改善計画書等諸様式の見直しを行い、一部を改訂した。 ○評価委員間のスムーズな連絡に努め、評価書等の交付書類の効率的な作成方法の改善に取り組んだ。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価、学校関係者評価を客観的に評価するとともに、専門性の高い者の視点で、学校の組織運営、教員の人材育成、障がいのある生徒の就労支援等の学校の課題を確認することができ、学校経営及び教職員の意識の改善を図ることができた。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試行実施においては委員1人当たりの評価担当校は1校であったが、平成22年度からの本格実施では1人当たり2校としており、各委員の評価に携わる時間的な負担が甚大なものとなった。今後、適切で効果的な実施方法について、継続した検討が必要である。

事業名	概要
<p>読書活動による 人間力向上事業</p> <p>決算額 9,370千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>一般財源 9,370千円</p> <p>○将来ビジョン</p> <p>Ⅵ 育む</p> <p>(2) 「人材・鳥取」の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>新学習指導要領において、各教科・科目等の指導に当たっては、生徒の思考力・判断力・表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、生徒の言語活動を重視することが明記された。このことから、これらの活動等の充実を図るとともに、生徒の読書活動を推進し支援することで、豊かな情操や人間性を育む。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) 言語活動充実のための蔵書の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 13校（定通併設校2校は毎年、残り22校は2年に1回）で、各校の生徒の実態、教育課程の特色に応じて、生徒の言語活動を充実させるために必要な図書・資料を購入した。 <p>(2) 読書に親しむ活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一斉読書や集団読書、小論文指導等での図書・資料を活用して思考し表現する力を高める読書指導の充実を図った。 全校 ・ ポスターやチラシ、広報誌の作成により読書啓発を図り、読書に対する意欲、興味・関心を喚起し、学校図書館の利用促進を図った。 全校 <p>(3) 司書教諭の養成及び資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通信教育（放送大学）により、4名が司書教諭の講習を受講して2名が終了し、資格を取得した。 ・ 司書教諭研修（2回）の実施により資質向上を図った。 <p>イ 平成22年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従来の「蔵書の充実」「集団読書の充実」「読書キャンペーン活動の支援」事業に新学習指導要領の観点を盛り込み、購入図書等の選書や読書指導が充実するようになった。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝読書を含む一斉読書実施校が増加し（平成21年度11校→平成22年度21校 うち朝読書実施校15校）、全県的に読書活動の推進が図られた。 ・ 各学科や各教科、課題研究、LHR等での調べ学習に対応できる図書・資料を充実させたことにより、授業等で大いに図書館が活用された。 ・ 司書教諭研修では、約88%の司書教諭が参考になったと回答している。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一斉読書活動については、実施校が増加したことから一定の成果が得られたが、未実施校3校への実施に向けた働きかけと生徒のニーズに沿った図書の充実とが必要である。 ・ 新学習指導要領の完全実施を前に、授業における生徒の言語活動の充実を図るための図書・資料を充実し、図書館の授業利用がスムーズに行われるよう、司書及び司書教諭の連携、資質向上を図る必要がある。

7 決算調書

(総括表)

(単位：円)

区分	科目	予算				額			支出済額の内訳		年度 翌年 繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	修正予算額	現業費 繰越事業費 繰越額	継続費 及び 繰越額	流出 及び 増減	計 A	支出済額 B	本 片	出納機関			
歳出	教職員 人事費	5,347,000	0	0	0	0	5,347,000	4,411,449	4,411,449	0	0	935,551	
	教育連絡 調整費	106,979,000	0	0	0	0	106,979,000	80,602,182	23,929,350	56,672,832	0	26,376,818	
	教育 振興費	203,682,000	0	6,000,000	0	0	209,682,000	173,501,434	32,875,425	140,626,009	0	36,180,566	
	合 計	316,008,000	0	6,000,000	0	0	322,008,000	258,515,065	61,216,224	197,298,841	0	63,492,935	
同	教育費 国庫補助金	1,314,000	1,007,000	2,000,000	0	0	4,321,000	7,295,912	3,902,783	3,393,129	0	△2,974,912	
上	教育費 委託金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
財	教育手数料	4,345,000	0	0	0	0	4,345,000	3,221,064	3,221,064	0	0	1,123,936	
源	雑 入	519,000	0	0	0	0	519,000	683,082	0	683,082	0	△164,082	
内	小 計	6,178,000	1,007,000	2,000,000	0	0	9,185,000	11,200,058	7,123,847	4,076,211	0	△2,015,058	
内	一般県費 充当	309,830,000	△1,007,000	4,000,000	0	0	312,823,000	247,315,007	54,092,377	193,222,630	0	65,507,993	
内	合 計	316,008,000	0	6,000,000	0	0	322,008,000	258,515,065	61,216,224	197,298,841	0	63,492,935	

注1 この調書は、一般会計、特別会計ごとに別業として別業として作成すること。
 注2 この調書は、予算科目の目名で記入すること。

8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(教職員人事費) 教職員人事 管理費	5,347,000	4,411,449	0	935,551	適切な学校管理・運営を期するため、管理主事による学校訪問等を行い、高等学校への指導を行った。 学校教育の充実と教育水準の向上に資するための教職員人事に努めた。 鳥取県教育委員会指導改善研修教員審査委員会を設置し、指導改善研修を要する教員の判定及び指導・支援、研修等の処遇の判定について審議(年3回)した。
目計	5,347,000	4,411,449	0	935,551	
(教育連絡調整費) 県立中高一貫校 設置調査事業	8,114,000	129,980	0	7,984,020	県立中高一貫校の設置について、「鳥取県中高一貫教育校設置検討委員会」を設置し、設置の意義や必要性、設置構想等について検討を実施した。 ・第1回会議：H22.5.14 ・先進校視察：H22.6.21 岡山操山中学校・高等学校 倉敷天城中学校・高等学校 ・第2回会議：H22.6.28 ・第3回会議：H22.8.30 なお、私立中高一貫校の設置について学校法人に強い意向があるため、この動向を注視しながら検討していくこととした。また、検討委員会を3月で閉会することについて、各委員を訪問し、事情を報告するとともに、了承を得た。

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																													
高等学校 改革推進事業	800,000	140,487	0	659,513	<p>平成24年度から平成30年度までの県立高等学校の在り方について、看護学科や福祉学科等の新学科の設置も視野に入れ、関係部局との意見交換等を実施しながら検討を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>日程</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関係部局との意見交換会</td> <td>H22.9.6</td> <td>工業分野、商業、農林水産業、コラボ産業分野</td> </tr> <tr> <td>福祉保健部との意見交換会</td> <td>H22.9.6 H23.1.12 H23.2.9</td> <td>看護、福祉分野</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成24年度の学科改編については、次のとおり決定した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">鳥取工業高等学校</th> </tr> <tr> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> </tr> <tr> <th>大学科</th> <th>小学科</th> <th>大学科</th> <th>小学科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工業④</td> <td>機械① 電気① 制御・情報① 建設工学① 建築コース 土木コース</td> <td>工業④</td> <td>機械① 電気① 制御・情報① 建設工学①</td> </tr> <tr> <td>理数工学①</td> <td>理数工学①</td> <td>理数工学①</td> <td>理数工学①</td> </tr> </tbody> </table> <p>(理由) 2年次以降に自らの興味・関心や適性等に応じて建築及び土木の専門分野を選択して学習することができるようにするため、コース制を廃止した。</p>	区分	日程	内容	関係部局との意見交換会	H22.9.6	工業分野、商業、農林水産業、コラボ産業分野	福祉保健部との意見交換会	H22.9.6 H23.1.12 H23.2.9	看護、福祉分野	鳥取工業高等学校				平成23年度		平成24年度		大学科	小学科	大学科	小学科	工業④	機械① 電気① 制御・情報① 建設工学① 建築コース 土木コース	工業④	機械① 電気① 制御・情報① 建設工学①	理数工学①	理数工学①	理数工学①	理数工学①
区分	日程	内容																																
関係部局との意見交換会	H22.9.6	工業分野、商業、農林水産業、コラボ産業分野																																
福祉保健部との意見交換会	H22.9.6 H23.1.12 H23.2.9	看護、福祉分野																																
鳥取工業高等学校																																		
平成23年度		平成24年度																																
大学科	小学科	大学科	小学科																															
工業④	機械① 電気① 制御・情報① 建設工学① 建築コース 土木コース	工業④	機械① 電気① 制御・情報① 建設工学①																															
理数工学①	理数工学①	理数工学①	理数工学①																															
<p>県立学校裁量 予算事業 (学校独自事業)</p> <p>予算額及び決算 額は教育環境課 で計上</p>					<p>学校長が独自性を発揮した学校経営ができるよう、学校運営費、教職員旅費、学校独自事業の総額を一括して配分し、学校長裁量による予算執行を行った。</p> <p>各学校の課題解決のための臨機な対応ができ、実施に当たっての費用対効果の検証、説明責任を果たすなど、学校の自主・自立に繋がっている。</p>																													
(主) 県立高校学力 向上チャレンジ ・サポート事業 (県立学校裁量予 算事業の別枠とし て実施)	6,000,000	3,052,115	0	2,947,885																														
高等学校 教育企画費	66,571,000	61,851,854	0	4,719,146	<p>県立高等学校に対して指導・助言を行うとともに、関係団体への助成を行った。</p>																													

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																				
入学選抜諸費	4,345,000	3,221,064	0	1,123,936	平成23年度県立高等学校入学者等の選抜を実施した。																				
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>課程</th> <th>定員</th> <th>志願者</th> <th>受検者</th> <th>合格者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全日制</td> <td>4,298</td> <td>4,605</td> <td>4,503</td> <td>4,105</td> </tr> <tr> <td>定時制</td> <td>220</td> <td>172</td> <td>165</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,518</td> <td>4,777</td> <td>4,668</td> <td>4,239</td> </tr> </tbody> </table>	課程	定員	志願者	受検者	合格者	全日制	4,298	4,605	4,503	4,105	定時制	220	172	165	134	計	4,518	4,777	4,668	4,239
課程	定員	志願者	受検者	合格者																					
全日制	4,298	4,605	4,503	4,105																					
定時制	220	172	165	134																					
計	4,518	4,777	4,668	4,239																					
(主)第三者評価導入事業	1,340,000	797,080	0	542,920	願書受付(一般) 23.2.17~2.21 入学者選抜検査(一般) 23.3.3~3.4 合格発表 23.3.11																				
教職員派遣研修費	19,809,000	11,409,602	0	8,399,398																					
中央研修講座への派遣 各種研修会・講習会への派遣					指導主事及び現職教員を中央研修講座等に派遣することで、指導力の向上を図るとともに、各地区において中核となる人材の育成を図った。																				
内地留学・新教育大学大学院への派遣 LD等専門員養成派遣					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>派遣先</th> <th>人数</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内地留学</td> <td>鳥取大学(3名) 内1名はLD等専門員養成派遣 宮崎大学(1名)</td> <td>4人</td> <td>1年</td> </tr> <tr> <td>新教育大学大学院</td> <td>兵庫教育大学大学院 (2年目1名) (1年目1名)</td> <td>2人</td> <td>2年</td> </tr> <tr> <td>14条特例による大学院派遣</td> <td>島根大学大学院</td> <td>1人 1人</td> <td>2年 1年</td> </tr> </tbody> </table>	区分	派遣先	人数	期間	内地留学	鳥取大学(3名) 内1名はLD等専門員養成派遣 宮崎大学(1名)	4人	1年	新教育大学大学院	兵庫教育大学大学院 (2年目1名) (1年目1名)	2人	2年	14条特例による大学院派遣	島根大学大学院	1人 1人	2年 1年				
区分	派遣先	人数	期間																						
内地留学	鳥取大学(3名) 内1名はLD等専門員養成派遣 宮崎大学(1名)	4人	1年																						
新教育大学大学院	兵庫教育大学大学院 (2年目1名) (1年目1名)	2人	2年																						
14条特例による大学院派遣	島根大学大学院	1人 1人	2年 1年																						
長期社会体験研修					平成22年度派遣なし																				
<p>*LD等専門員養成派遣 PDD(広汎性発達障害)やLD(学習障害)の生徒に適切に対応ができるよう、高等学校の教員を大学へ派遣し、LD等専門指導員として養成する。</p>																									
目計	106,979,000	80,602,182	0	26,376,818																					

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果									
(教育振興費)														
(主) 次世代改革 高校生学力向上 推進事業	21,467,000	13,642,933	0	7,824,067										
外国語教育改善 指導費	121,058,000	111,124,475	0	9,933,525	語学指導を行う外国青年を県立 学校に配置した。 ・英 語 21人 ・中 国 語 1人 ・ハンゲル 2人 英語担当者の資質の向上を図る ため、英語圏の大学への研修派遣 を行った。 ・2ヶ月派遣 仔取 1校-大学 2名									
授業への外部 指導者活用事業	7,523,000	5,642,690	0	1,880,310	県立高校・大学教員交流事業 高等学校の生徒が大学教官の講 義を受けることにより、学ぶこと への意欲の高揚を図るとともに、 将来の進路目標に向かって学習す る態度の育成に努めた。									
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>実施校</th> <th>教員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取大学</td> <td>9 校</td> <td>延25名</td> </tr> <tr> <td>鳥取環境大学</td> <td>6 校</td> <td>延10名</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	実施校	教員数	鳥取大学	9 校	延25名	鳥取環境大学	6 校	延10名
区 分	実施校	教員数												
鳥取大学	9 校	延25名												
鳥取環境大学	6 校	延10名												
					<p>社会人講師活用事業</p> <p>生徒の興味・関心に応じた多様 な教育を展開し、専門的な知識・ 技術を有する社会人を講師として 招へいした。</p> <p>県立高校 22校 延べ 822時間</p>									
(主) 地域を担う 人財育成事業	2,297,000	970,930	0	1,326,070										
地域産業の 担い手育成 プロジェクト	3,024,000	992,595	0	2,031,405	県の水産業の新しい担い手とな る人材を育成することを目的に、 学校と地域の水産業界、行政が連 携して、人材育成システムの構築 と実践を行った。 【主な実績】 ・漁業体験実習・海洋科：参加 生徒69人、協力企業4社 ・職場体験実習・食品科：参加 生徒37人、協力企業13社 ・技術者等による学校での実践指 導・海洋科：参加生徒104 人、協力企業5社、食品科：参 加生徒106人、協力企業6社 【成果】 水産関係職種への就職者 事業実施前（H20年度） 漁業 0名 水産食品製造 3名 事業実施後（H22年度） 漁業 7名 水産食品製造 8名									

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																																																
専門高校活性化支援事業	629,000	132,200	0	496,800	企業、関係団体等と連携し、学習指導案や各校各種事業等、新たなアントレプレナープログラムを実践した。																																																
キャリア教育充実事業	4,024,000	2,845,930	0	1,178,070	福祉資格取得の促進 鳥取県ヘルプメイト資格の認定 訪問介護員養成研修の支援 実施校 4校 職業教育技術顕彰の実施 就職支援相談員の配置 17校15名 農業後継者のつどいへの助成 参加生徒 3校17名 県外先進地農家への派遣 派遣生徒 2校2名																																																
定時制・通信制教育振興費	1,645,000	746,272	0	898,728	1 高等学校の定時制・通信制課程に在籍する一定の要件を満たす生徒に対し、教科書・学習書を給与した。																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">定時制</th> <th colspan="3">通信制</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>冊数</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>冊数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取緑風</td> <td>15</td> <td>118</td> <td>86,077</td> <td>3</td> <td>28</td> <td>23,400</td> </tr> <tr> <td>倉吉東</td> <td>5</td> <td>39</td> <td>26,720</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>米子東</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>10,275</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>米子白鳳</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>92</td> <td>88,760</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23</td> <td>173</td> <td>123,072</td> <td>10</td> <td>120</td> <td>112,160</td> </tr> </tbody> </table>						区分	定時制			通信制			人数	冊数	金額	人数	冊数	金額	鳥取緑風	15	118	86,077	3	28	23,400	倉吉東	5	39	26,720				米子東	3	16	10,275				米子白鳳	0	0	0	7	92	88,760	計	23	173	123,072	10	120	112,160
区分	定時制			通信制																																																	
	人数	冊数	金額	人数	冊数	金額																																															
鳥取緑風	15	118	86,077	3	28	23,400																																															
倉吉東	5	39	26,720																																																		
米子東	3	16	10,275																																																		
米子白鳳	0	0	0	7	92	88,760																																															
計	23	173	123,072	10	120	112,160																																															
中高連携推進事業	1,300,000	949,620	0	350,380	2 県定時制通信制教育振興会に対する助成を行った。 補助金額 210千円 中学生の高等学校に対する理解促進を図り、高校入学時のミスマッチの防止を図った。																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進路指導資料「輝け！夢」の作成</td> <td>県内中学校の2年生全員に配布 7,600部</td> </tr> <tr> <td>中学生県立高校体験事業の実施 (学校裁量予算で実施)</td> <td>県立高校体験入学または授業参観等 対象：中学生、保護者、中学校教員 時季：夏季休業中等において各高等学校が 期間設定</td> </tr> </tbody> </table>						区分	実績	進路指導資料「輝け！夢」の作成	県内中学校の2年生全員に配布 7,600部	中学生県立高校体験事業の実施 (学校裁量予算で実施)	県立高校体験入学または授業参観等 対象：中学生、保護者、中学校教員 時季：夏季休業中等において各高等学校が 期間設定																																										
区分	実績																																																				
進路指導資料「輝け！夢」の作成	県内中学校の2年生全員に配布 7,600部																																																				
中学生県立高校体験事業の実施 (学校裁量予算で実施)	県立高校体験入学または授業参観等 対象：中学生、保護者、中学校教員 時季：夏季休業中等において各高等学校が 期間設定																																																				
(主)読書活動による人間力向上事業	9,748,000	9,369,891	0	378,109																																																	

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																
文化部活動 充実支援事業	35,553,000	25,920,014	0	9,632,986	高等学校文化部に対して支援を行うことで、文化部活動の活性化を図るとともに、全国高等学校総合文化祭及び国民文化祭をとおして醸成された文化芸術活動への機運を高め、県内文化芸術活動の後継者となる高等学校の文化部生徒の育成を図った。																
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部指導者招へい事業 (学校裁量予算で実施)</td> <td>文化部活動において校外の社会人に指導を受けた。</td> </tr> <tr> <td>合同練習会等支援事業</td> <td>全国高等学校総合文化祭に合同で出場する部門について、一同に集まって練習した。</td> </tr> <tr> <td>備品整備事業</td> <td>地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用により、繰り越された備品購入費6,000千円で、トランペット等(管弦楽部)や大筆(書道部)など日常の活動に必要な備品を整備した。</td> </tr> <tr> <td>県高等学校文化連盟への助成</td> <td>ア 全国高等学校総合文化祭(宮崎)派遣費補助 イ 鳥取県高等学校総合文化祭開催費補助 ウ 近畿高等学校総合文化祭(奈良)派遣費補助</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	実 績	外部指導者招へい事業 (学校裁量予算で実施)	文化部活動において校外の社会人に指導を受けた。	合同練習会等支援事業	全国高等学校総合文化祭に合同で出場する部門について、一同に集まって練習した。	備品整備事業	地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用により、繰り越された備品購入費6,000千円で、トランペット等(管弦楽部)や大筆(書道部)など日常の活動に必要な備品を整備した。	県高等学校文化連盟への助成	ア 全国高等学校総合文化祭(宮崎)派遣費補助 イ 鳥取県高等学校総合文化祭開催費補助 ウ 近畿高等学校総合文化祭(奈良)派遣費補助						
区 分	実 績																				
外部指導者招へい事業 (学校裁量予算で実施)	文化部活動において校外の社会人に指導を受けた。																				
合同練習会等支援事業	全国高等学校総合文化祭に合同で出場する部門について、一同に集まって練習した。																				
備品整備事業	地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用により、繰り越された備品購入費6,000千円で、トランペット等(管弦楽部)や大筆(書道部)など日常の活動に必要な備品を整備した。																				
県高等学校文化連盟への助成	ア 全国高等学校総合文化祭(宮崎)派遣費補助 イ 鳥取県高等学校総合文化祭開催費補助 ウ 近畿高等学校総合文化祭(奈良)派遣費補助																				
高校生マナー アップ推進 事業	100,000	48,825	0	51,175	<p>高校生の社会の一員としての自覚を高め、規範意識の向上を図るため、あいさつ運動等を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施期間</th> <th>参加人数</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>H22. 4. 20~23</td> <td>約4,270人</td> <td>①JR主要駅前での挨拶運動・マナー呼びかけ</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>H22. 9. 14~17</td> <td>約4,320人</td> <td>②各高校校門付近での挨拶運動、服装・マナー指導</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>H23. 2. 3~ 4</td> <td>約 820人</td> <td>③列車に乗車してのマナー指導 ④各校独自のマナーアップ運動</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実施期間	参加人数	活動内容	第1回	H22. 4. 20~23	約4,270人	①JR主要駅前での挨拶運動・マナー呼びかけ	第2回	H22. 9. 14~17	約4,320人	②各高校校門付近での挨拶運動、服装・マナー指導	第3回	H23. 2. 3~ 4	約 820人	③列車に乗車してのマナー指導 ④各校独自のマナーアップ運動
区分	実施期間	参加人数	活動内容																		
第1回	H22. 4. 20~23	約4,270人	①JR主要駅前での挨拶運動・マナー呼びかけ																		
第2回	H22. 9. 14~17	約4,320人	②各高校校門付近での挨拶運動、服装・マナー指導																		
第3回	H23. 2. 3~ 4	約 820人	③列車に乗車してのマナー指導 ④各校独自のマナーアップ運動																		

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果						
エネルギー 教育支援事業	1,314,000	1,115,059	0	198,941	高等学校におけるエネルギーに関する教育に関して、必要な備品等を整備し、講演等を実施した。 (国10/10)						
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取工業</td> <td>ガイガーカウンター等 放射線量測定等に係るフィールドワーク実施 エネルギーに係る講義と実験</td> </tr> <tr> <td>米子東</td> <td>ガイガーカウンター等</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	品名	鳥取工業	ガイガーカウンター等 放射線量測定等に係るフィールドワーク実施 エネルギーに係る講義と実験	米子東	ガイガーカウンター等
学校名	品名										
鳥取工業	ガイガーカウンター等 放射線量測定等に係るフィールドワーク実施 エネルギーに係る講義と実験										
米子東	ガイガーカウンター等										
目計	209,682,000	173,501,434	0	36,180,566							
合計	322,008,000	258,515,065	0	63,492,935							

9 予備費の充用調べ
該当なし

10 繰越関係調べ
 (1) 継続費繰越調べ
 該当なし

(2) 繰越明許費調べ
 該当なし

(3) 事故繰越調べ
 該当なし

11 収入証紙取扱額調べ

目	収入科目		件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
	節	細節				
教育手数料	教育手数料	全日制高等学校入学料	4,426	5,550	24,564,300	
		定時制高等学校入学料	170	2,050	348,500	
		通信教育入学料	97	480	46,560	
		高等学校専攻科入学料	120	10,000	1,200,000	
		入学選抜手数料	4,971		10,710,800	
		証明書発行手数料	7,100		2,981,770	
		計(教育手数料)	16,884		39,851,930	
		本庁執行分計(教育手数料)	16,884		39,851,930	
		出納機関執行分計(教育手数料)			0	
		目計			39,851,930	
		合計			39,851,930	

12 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金
 該当なし

(2) 使用料

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
本庁執行分計（教育使用料）			0	0	0	0		
出納機関執行分計（教育使用料）			29,933,160	29,527,160	0	406,000	鳥取県立高等学校授業料徴収条例	収入未済額内記過年度調定分 406,000円
目計			29,933,160	29,527,160	0	406,000		
合計			29,933,160	29,527,160	0	406,000		

(単位：円)

(3) 手数料

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
教育手数料								
全日制高等学校入学料		4,426	24,564,300	24,564,300	0	0	鳥取県立高等学校授業料徴収条例	
定時制高等学校入学料		170	348,500	348,500	0	0	鳥取県立高等学校授業料徴収条例	
通信教育入学料		97	46,560	46,560	0	0	鳥取県立高等学校授業料徴収条例	
高等学校専攻科入学料		120	1,200,000	1,200,000	0	0	鳥取県立高等学校授業料徴収条例	
入学選抜手数料		4,971	10,710,800	10,710,800	0	0	鳥取県立高等学校授業料徴収条例	
証明書発行手数料		7,102	2,983,070	2,983,070	0	0	鳥取県立高等学校授業料徴収条例	
計（教育手数料）		16,886	39,853,230	39,853,230	0	0		
本庁執行分計（教育手数料）		16,886	39,853,230	39,853,230	0	0		
出納機関執行分計（教育手数料）		267	112,400	112,400	0	0	鳥取県立高等学校授業料徴収条例	
目計		17,153	39,965,630	39,965,630	0	0		
合計		17,153	39,965,630	39,965,630	0	0		

(単位：円)

(4) 財産収入
該当なし

(5) 寄付金

該当なし

(6) 諸収入

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
本庁執行分計(雑入)		0	0	0	0	0		
出納機関執行分計(雑入)			1,299,435	1,299,435	0	0		
目計			1,299,435	1,299,435	0	0		
合計			1,299,435	1,299,435	0	0		

(単位:円)

(7) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況

収入科目	収入済額	備考
証明書発行手数料	1,300	履歴証明書等

(単位:円)

イ つり銭の状況

該当なし

13 税外収入未済額調べ

区分	収入科目	前年度 以前からの繰 越額	過去の収入済額		現年度分			収入未済額 計 A+B	未収理由	
			左のうちの収入済額	不納欠損額	収入未済額 A	収入未済額 B	収入済額			調定額
	目									
	節									
	本庁執行分計(教育使用料)	0	0	0	0	0	0	0		
	出納機関執行分計(教育使用料)	443,200	37,200	0	406,000	0	0	0	406,000 滞納	
	目計	443,200	37,200	0	406,000	0	0	0	406,000	
	合計	443,200	37,200	0	406,000	0	0	0	406,000	

(単位:円)

14 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

収 入 科 目			債権管理 事務取扱 要領の作 成の有無	取り組み状況	取り組み効果				
目	節	細節			H21末 未収金額 A	H22年度		H22新規 未収金額 D	H22末 未収金額 C+D
教育使用料	授業料	全日制高等 学校授業料	無	①回収困難者については、 財源確保推進課債権管理 担当に引継ぎ、中には法 的措置の検討をしている ものもある。	未収金の状況				
					円	円	円	円	円
				443,200	37,200	406,000	0	0	

15 税外収入不納欠損額調べ

該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況			当該事業の 契約額等	執行(支出)状況					備考
		議決	期間	限度額		設定年度の 執行額 A	債務負担行為の期間			合計 A+B	
							21年度まで の執行額	22年度 執行額	23年度以降の 執行予定額		
平成21年度 外国語教育 改善指導費	その他 (報酬・ 共済 費)	平成21年3月	22年度	28,404,000 円	68,699,569 円	—	27,430,925 円	—	27,430,925 円	96,130,494 円	出納機 関で執 行
平成20年度 鳥取工業高校 実習機器	借上料	平成20年3月	21年度から 22年度まで	7,686,000	1,661,100	—	1,186,500	—	6,881,700	8,542,800	出納機 関で執 行
平成22年度 外国語教育 改善指導費	その他 (報酬・ 共済 費)	平成22年3月	23年度	28,414,000	70,726,996	—	—	28,414,000	28,414,000	99,140,996	出納機 関で執 行
平成23年度 外国語教育 改善指導費	その他 (報酬・ 共済 費)	平成23年3月	24年度	28,608,000	—	—	—	—	—	—	出納機 関で執 行
合 計				93,112,000	203,814,290	5,695,200	28,617,425	28,414,000	62,726,625	203,814,290	

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等 (規約、要領等を含む)	備考
教育連絡調整費							0		
支出額が10万円 未満のもの							31,000		
本庁執行分計							31,000		
出納機関執行分計							4,580,555		
目計							4,611,555		
教育振興費	857,000	単県	外国青年傷害保険 料負担金	財) 自治体国 際化協会	定額	22.5.14 22.11.30	76,050 519,380	語学指導等を行う外国 青年招致事業実施要綱	英語 その他
	1,656,000	単県	外国青年招致事業 に係る人頭割会費	財) 自治体国 際化協会	定額	22.5.14 22.11.30	216,000 1,440,000	同上	英語 その他
	1,848,000	単県	外国青年新規招致 者渡航負担金	財) 自治体国 際化協会	定額	22.11.30	554,505	同上	
支出額が10万円 未満のもの							18,300		
本庁執行分計							2,824,235		
出納機関執行分計							1,554,304		
目計							4,378,539		
合計							8,990,094		

(2) 補助金
 予算科目 (教育連絡調整費)
 ① 国 補 分
 該当なし

② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称 (補助金の創設年度)	交付先	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況		備考	
			交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	精算払 精算払 の別	支出 年月日		金額
鳥取県高等学校 指導部連盟補助 金 (S53年度)	鳥取県高 等学校指 導部連盟 会長 (鳥取西 高等学 校校 長)	479,000	22.3.31		23.3.30	概算	22.7.7	210,000	校外補導や生徒指 導担当職員の研修 会等の実施を補助 することにより、 生徒指導の円滑化 と充実を図るた め。引続継続
			22.4.30						
生徒指導教職員 研修会等の開 催、校外指導、 中・高生徒指導 部協議会の開催		(補助率：定額) 210,000	22.5.14	23.3.25	23.3.28				
鳥取県高等学校 家庭クラブ連盟 補助金	鳥取県高 等学校家 庭クラブ 連盟成人 会長 (米子南 高等学 校校 長)	644,342	22.3.31		23.3.28	概算	22.6.15	520,000	家庭クラブ活動を 行う生徒に家庭生 活の重要性を認識 させ、将来の良き 家庭設計者として の素地を育成する ため。引続継続
			22.4.26						
各種研究会等の開 催、全国大会参加経 費の助成、機関誌の 発行。		(補助率：定額) 484,342	22.5.11	23.3.9	23.3.17		23.4.7	△35,658	
鳥取県学校農業 クラブ連盟補助 金	鳥取県学 校農業ク ラブ連盟 成人代表 会長 (鳥取湖 陵高等学 校校 長)	1,110,871	22.3.31		23.3.30	概算	22.7.22	949,000	農業クラブ活動を 行う生徒に農業の 重要性を認識さ せ、将来の良き農 業経営者等として の素地を育成する ため。引続継続
			22.4.19						
各種競技会・発表の 開催、会報の発行、 全国大会参加経費の 助成		(補助率：定額) 949,000	22.5.11	23.3.22	23.3.22				
第61回全国高等 学校定時制通信 制教頭・副校長 協会教育研究協 議会開催費補助 金	第61回全 国高等学 校定時制 通信制教 頭・副校 長協会教 育研究協 議会鳥取 大会実行 委員長	1,918,471	22.6.8		22.9.6	精算		0	平成22年度臨時
			22.6.30						
定時制通信制教育に 関する諸課題につい て研究協議を行うこ とを目的とする		(補助率：定額) 0	22.7.15	22.8.27	22.8.30				
第51回中国地区 高等学校定時制 通信制教育振興 大会及び研究協 議会開催費補助 金	第51回中 国地区高 等学校定 時制通信 制教育振 興大会 実行委員 会会長	511,015	22.6.8		23.4.26	精算		0	平成22年度臨時
			22.8.27						
中国地区高等学校定 時制通信制教育の諸 問題を研究協議を行 うことを目的とす る。		(補助率：定額) 0	22.9.10	23.4.5	23.4.13				
本庁執行分計								1,643,342	
出納機関執行分計								0	
単 県 分 計								1,643,342	

表の補足説明

- 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものの当初の年月日である。
- 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。

予算科目 (教育振興費)

① 国 補 分
該 当 な し

② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称 (補助金の創設年度)	交付先	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日	着 手 年月日	額の確定 年月日	支 出 の 状 況			備 考
			交付申請 年月日	完 了 年月日	検 査 年月日	精算払 精算払 の別	支出 年月日	金 額	
鳥取県高等学校定時制通信制教育振興会 補助金	鳥取県高等学校定時制通信制教育振興会会長	422,904	22.3.31		23.4.12	概算	22.10.26	210,000	定時制通信制高等学校の生徒が、各種大会や研修会に参加することにより、生徒の学習意欲を高めるため。引続継続
			22.5.17						
			22.5.31	23.4.5	23.4.7				
生徒研修活動、表彰、会員研修、会議費、記念誌発行等		(補助率：補助対象経費の1/2以下) 210,000							
鳥取県高等学校文化連盟補助金 (S62年度)	鳥取県高等学校文化連盟会長 (米子西高等学校長)	20,284,058	22.3.31		23.4.14	概算	22.5.31	800,000	
			22.4.30			"	22.7.16	13,924,000	
			22.5.24	23.3.31	23.4.6	"	22.10.15	7,574,000	
全国高総文祭・近畿高総文祭への派遣、県高総文祭の開催		(補助率：定額) 18,348,561					23.4.21	△3,949,439	
本庁執行分計								18,558,561	
出納機関執行分計								0	
単 県 分 計								18,558,561	
表の補足説明	1 「交付申請年月日」及び「交付決定年月日」欄の()書きは、変更に係るものの当初の年月日である。 2 翌年度繰越分の期間・繰越事業費を「備考」欄に記入する場合の()書きは補助金相当額である。								

(2) 補助金 (他課から予算の配当替えを受けて執行するもの)
該 当 な し

(3) 交付金
該 当 な し

(4) 委託料

(単位：円)

予算科目 (目)	国補単の別	委託料の名称	委託契約の相手方	当		初		約		入札等年月日 (契約締結等日)	完了年月日	支出の状況		備考	
				予定価格	変更	(契約年月日) 契約額	(契約年月日) 契約額	契約期間	契約期間			支出区分	支出年月日		金額
教職員人事費	単	立学校時間外 業務管理業務 委託	(株)鳥取 県情報セン ター	849,000	()	(22.4.1)	848,190	22.4.1	23.3.31	22.3.10 (免除)	23.3.31	精算	23.4.12	848,190	③
											随		23.4.4		
出納機関執行分計	単	立学校休 暇等申請・承認 システム構築業 務委託	(株)鳥取 県情報セン ター	1,979,208	()	(22.4.28)	1,978,200	22.4.28	22.9.30	22.4.26 (免除)	22.9.30	精算	22.10.14	1,978,200	新規 ③
											随		22.10.1		
教育連絡調整 費	単	立学校授業料 徴収システム業務 運用・保守業務 委託	(株)鳥取 県情報セン ター	424,095	()	(22.10.1)	424,095	22.10.1	23.3.31	22.9.8 (免除)	23.3.31	精算	23.4.12	424,095	新規 ③
											随		23.4.4		
本庁執行分計	単	立学校授業料 徴収システム業務 運用・保守業務 委託	(株)鳥取 県情報セン ター	3,202,950	()	(22.4.1)	3,202,920	22.4.1	23.3.31	22.3.17 (免除)	23.3.31	精算	23.4.7	3,202,920	新規 ③
											随		23.3.31		
予定価格が20 万円未満のもの														0	
出納機関執行分計														3,202,920	
目計														0	
目計														3,202,920	

予算科目 (目)	国補単 原の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約締結 年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	変更契約 (契約年月日) 契約額	契約 (最終) 契約額			契約 期間	契約 期間	支 出 区 分	
教育振興費	単県	教科指導力向上 事業(県内研 修)業務	学校法人 河合塾	3,480,000	(22.6.10) 3,000,000	22.6.10 ~ 22.8.31	22.6.2 (免除)	22.8.18	精算	22.9.30	3,000,000	④
予定価格が20 万円未満のもの											0	
本庁執行分計											3,000,000	
出納機関執行分計											0	
目計											3,000,000	
合計											9,453,405	

(単位：円)

(4-2) 委託料 (他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

予算科目 (目)	国補単 原の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約締結 年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	変更契約 (契約年月日) 契約額	契約 (最終) 契約額			契約 期間	契約 期間	支 出 区 分	
高等学校総務費 予定価格が20 万円未満のもの											0	
本庁執行分計											0	
出納機関執行分計											909,200	学校医委託 青谷高 岩美高 倉吉農業高
目計											909,200	
合計											909,200	

(単位：円)

18 工事請負費調べ

該当なし

18-2 工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）

該当なし

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

ウ 山林

該当なし

エ 不動産売却等

該当なし

オ 財産の交換

該当なし

カ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）

該当なし

キ 物権

該当なし

ク 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

該当なし

ケ 有価証券

該当なし

コ 出資による権利

該当なし

(2) 金券類の受払状況

(平成23年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手 及び 郵便はがき	円 47,890	円 19,760	円 49,350	円 18,300	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシーク ーポン券	0	0	0	0	
図書カード	0	20,000	0	20,000	県外教員との交流事 業に係る報償物品
合 計	47,890	39,760	49,350	38,300	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成23年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
53 枚	30 枚	18 枚 34,350 円	65 枚

(3) 基金

該当なし

(4) 債 権

(平成23年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備 考
	金 額	件数	増		減		金 額	件数	
			金 額	件数	金 額	件数			
外国語指導助手の宿舍 借上に係る敷金	円		円		円		円		
	100,000	1					100,000	1	鳥取東高校
	147,000	1					147,000	1	鳥取西高校
	147,000	1					147,000	1	鳥取商業高校
	110,000	1					110,000	1	鳥取工業高校
	147,000	1					147,000	1	鳥取湖陵高校
	231,000	3					231,000	3	青谷高校
	156,000	1					156,000	1	岩美高校
	294,000	2					294,000	2	八頭高校
	106,000	1					106,000	1	米子東高校
	100,000	1					100,000	1	米子西高校
	104,000	1					104,000	1	米子高校
	114,000	1			△114,000	△1	0	0	米子南高校
	92,000	1					92,000	1	米子工業高校
	118,000	1					118,000	1	境高校
	118,000	1					118,000	1	日野高校
合 計	2,084,000	18			△114,000	△1	1,970,000	17	

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）

該当なし

21 借受不動産明細調べ

該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

ア 管理状況

該当なし

イ 異動状況

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

該当なし

イ 異動状況

該当なし

2.3 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

該当なし

2.4 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

2.5 備品の処分状況調べ

該当なし

2.6 現金、有価証券、物品の防湿、損傷調べ

該当なし

2.7 貸付金等状況調べ

(1) 総括表

該当なし

(2) 償還状況

該当なし

- 意見、要望等
(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

- (2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし